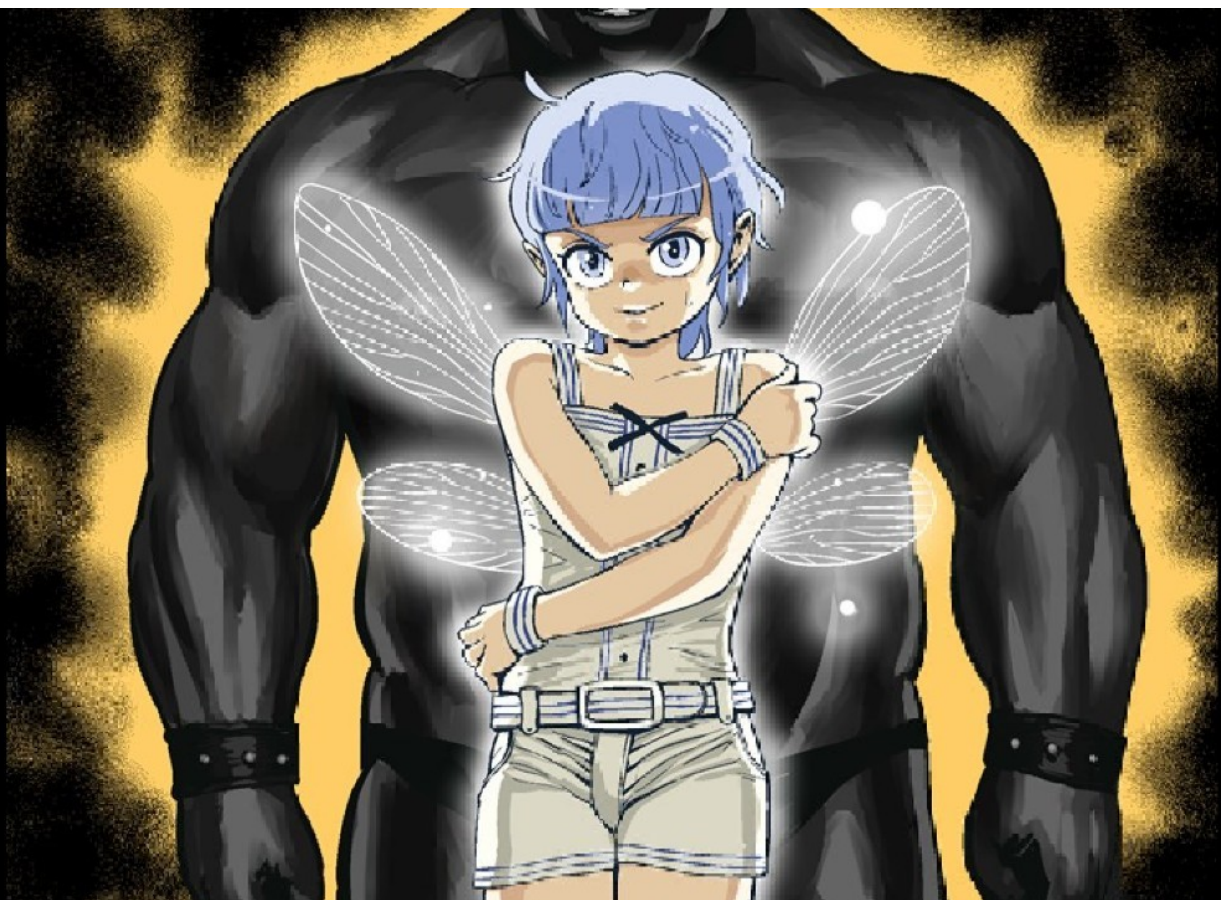






空を飛ぶのも
自由自在

あたし達には
羽がある



ハイ
あたしはピーカ

フェアリーだよ
よろしく

まずは簡単な
自己紹介から







アルムが言ってるのは
1年ほど前に現れた
変なオークのことだ

そいつは他と違って
仲間と群れず
真っ黒な色をしてた

ピーカが対応
したんだよね

そーだよあたしが
やつつけたんだよ
あの黒豚

外敵の排除は
フェアリーの
仕事のひとつだ

オーガやゴブリンなど
他に害を為す連中を
強制排除する

簡単に言うと
森の番兵かな

牧歌的イメージの
フェアリーだけど
実はけっこう強い







みしっ

その頃からだ



仮の話でも
そんなのは
勘弁だから!

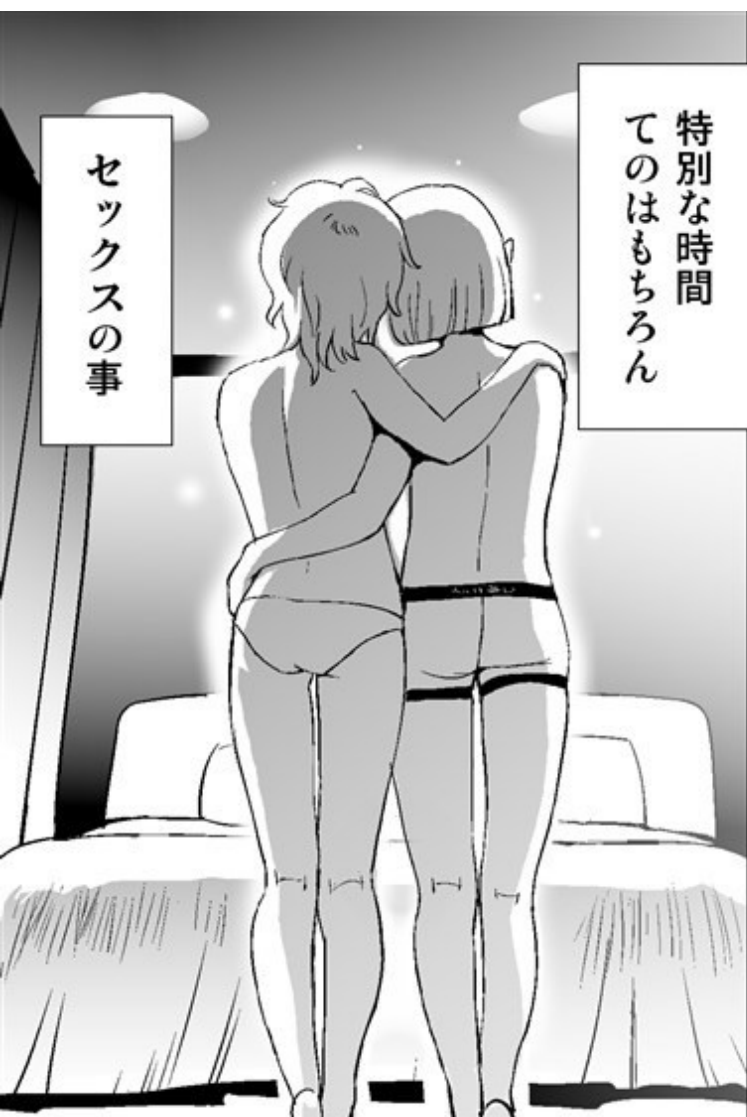
オークの目的が
レイプだとしたら
まずピーカを
拉致して...



アルム？

そこいる？

身の周りでおかしな
気配を感じる様になっ
たのは



あたしたち
フェアリーは

セックスは日常的な
コミュニケーションの
ひとつだ

その気軽さは
たとえるならば
スポーツに近い

セックスが
大好き

マジックミサイル
という飛び道具を
持つあたしたちは

上空から一方的に
攻撃を加えることが
できるからだ

能力は他にも
いろいろあって

透明化とか

短距離転移とか

索敵レーダーとか

各種バリアとか

まだまだあるけど
要するに防衛面
でも死角はない





ただ――

あのオークだけは
少し勝手が違った



なのであたしを
始めとした大半は
侵入者をとことん
からかって遊ぶ

圧倒的な高み
からの舐め方は
最高のエンタメだ

それだけ
じゃない

あたしは毎夜
変な夢を見る
ようになった

大きな
黒い男に

のしかかれる
夢だ



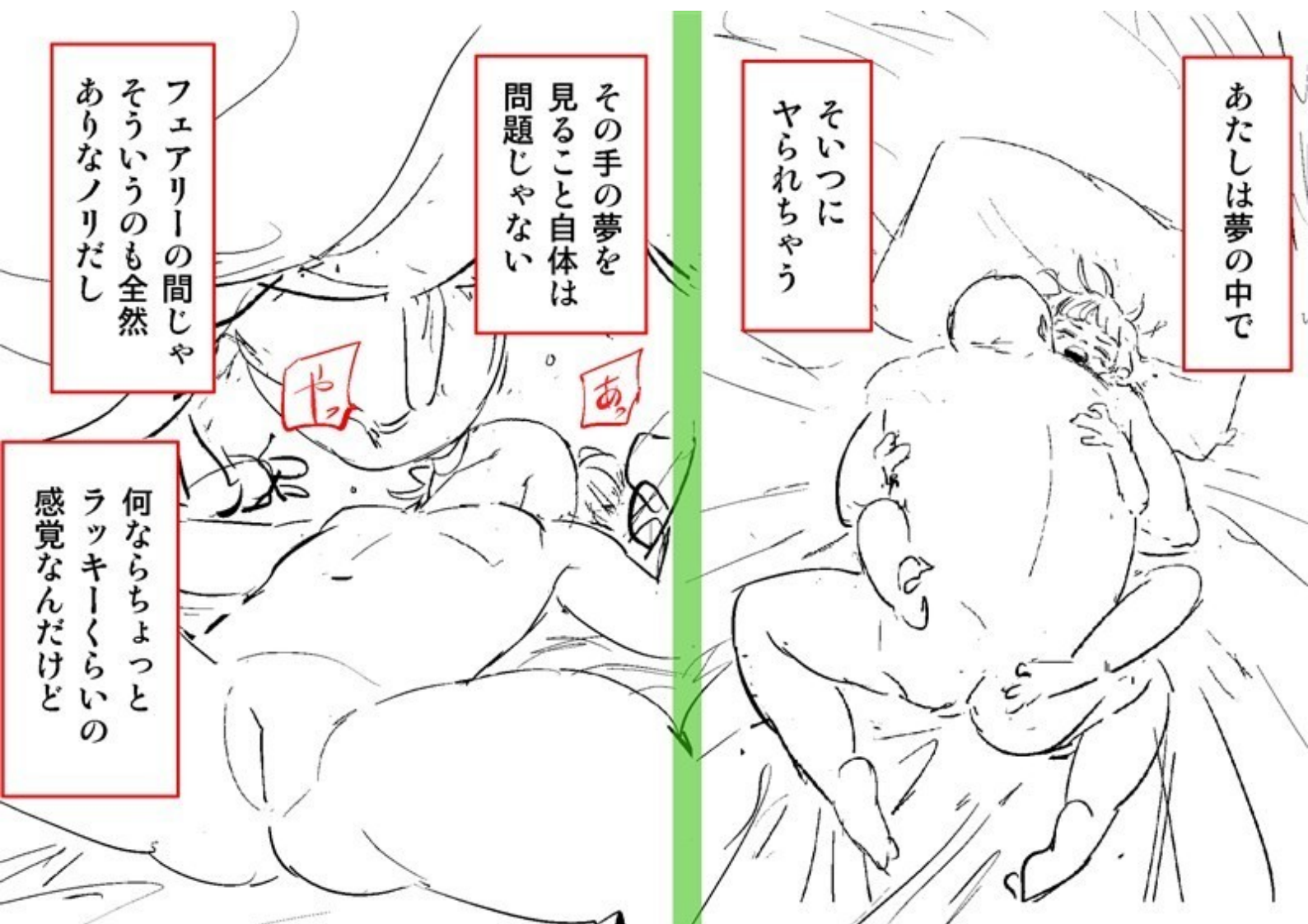
あたしは夢の中で

そいつに
やられちゃう

その手の夢を
見ること自体は
問題じゃない

フェアリーの間じゃ
そういうのも全然
ありなノリだし

何ならちよつと
ラッキーくらいの
感覚なんだけど



俺もだ
ピーカ

うげっ!?

なんで
こいつあたしの
名前知ってるの!?

気持ち悪っ!!

いい根性
してるよ

前回ボロ負け
したくせに

やあ久しぶり
探してたんだ

ヒューン

キッ



毎晩いい夢
見れただろ

あれお前の
仕業だった
のかよ!?

まさか
あの夢



は?
プレゼント?

ところで
おれのプレゼント
受け取ってくれたか



うっ…
近っ！

てか改めて見ると
すごい体してんな

厚みがこっちの
倍以上あるよ

頑丈なわけだ

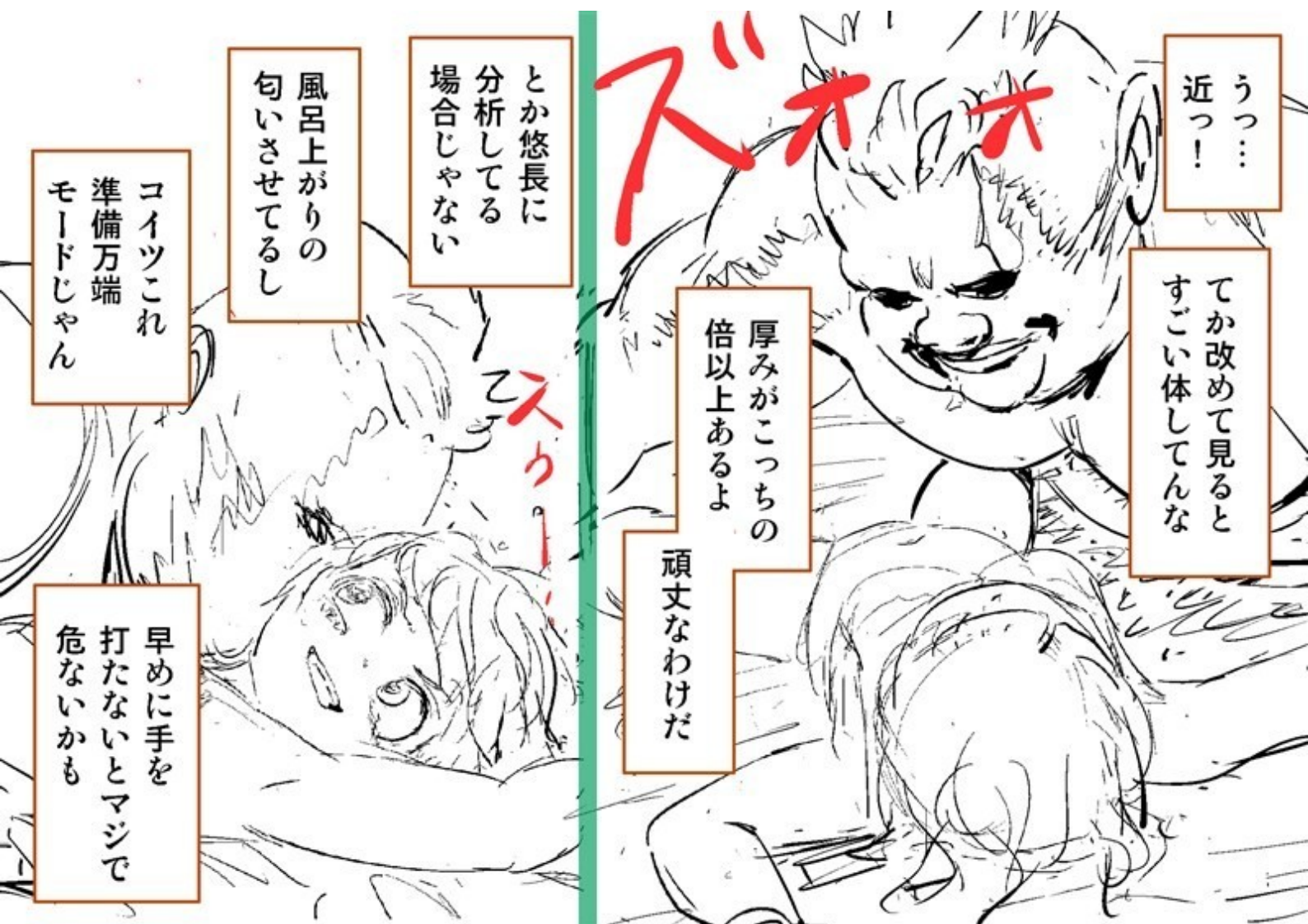
ブォォ

とか悠長に
分析してる
場合じゃない

風呂上がりの
匂いさせてるし

コイツこれ
準備万端
モードじゃん

早めに手を
打たないとマジで
危ないかも





あゝ...

くっそう

もう!?

って
うそっ!?

スルル



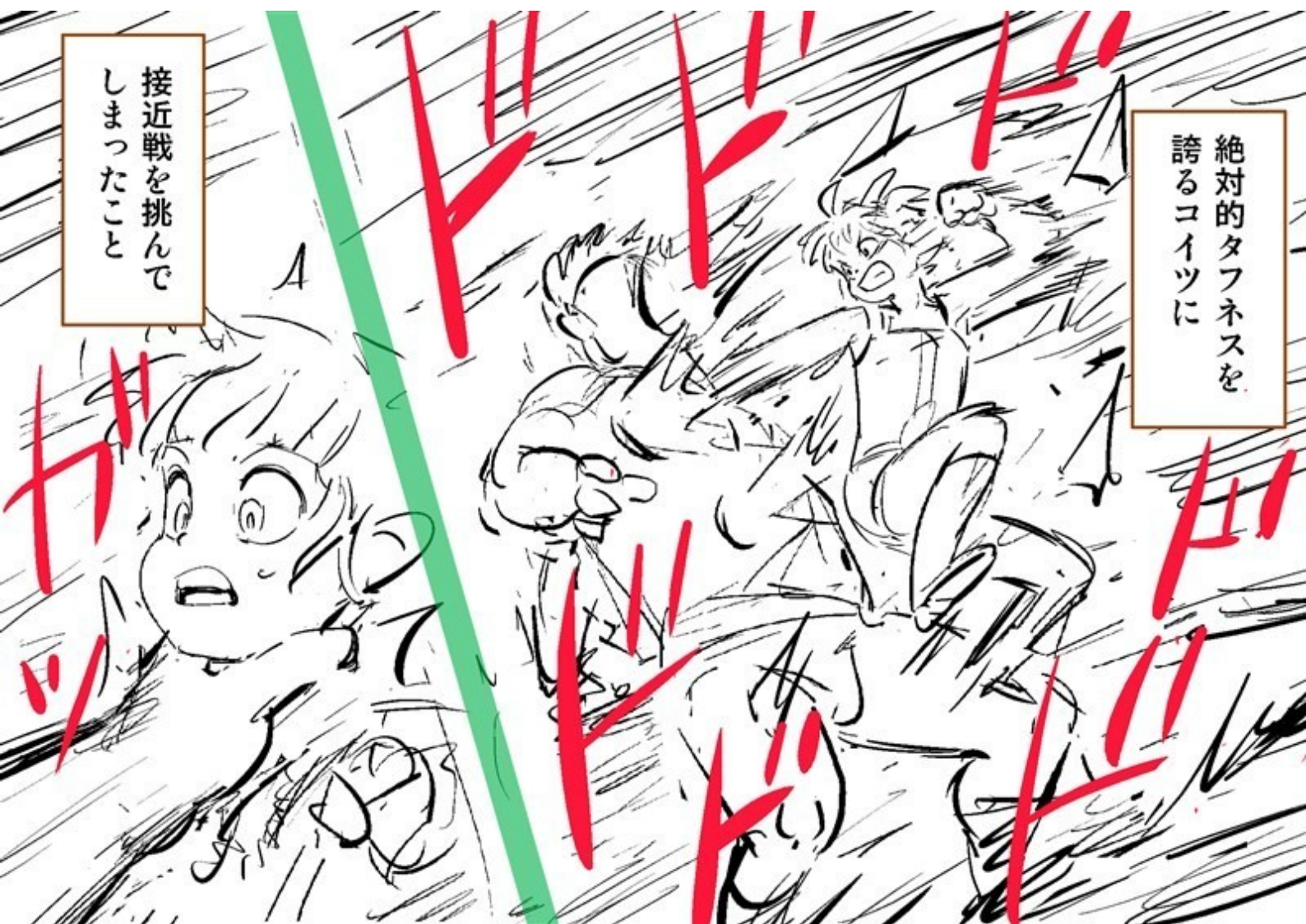
想定外だ

ここまで欲望に
ストレートだ
なんて…



絶対的タフネスを
誇るコイツに

接近戦を挑んで
しまったこと



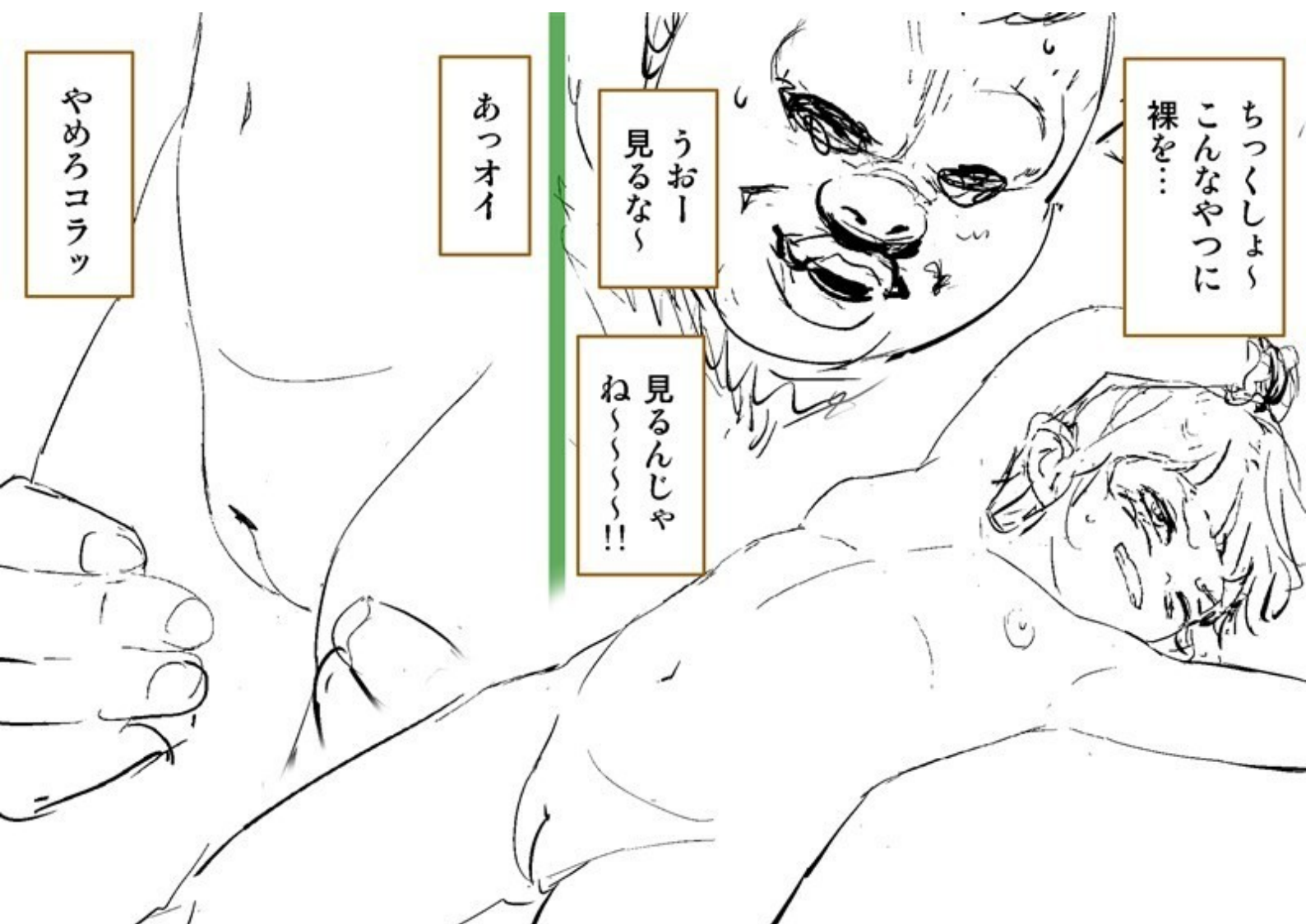
ちつくしよ
こんなやつに
裸を...

うおー
見るな

見るんじや
ね~~~~~!!

あつオイ

やめろコラッ



なに早速
開こうとしてんだ

させるかよ!!

くっ…
こいつ意地でも
開く気か…

あつダメだこれ
力が入らないわ

ぱっ

なんせフェアリーは
妊娠もしないし
病気にもかからない

だから初対面でも
挨拶感覚でHしちゃうし

相手だってコロコロ
替えて楽しむのが
普通だ





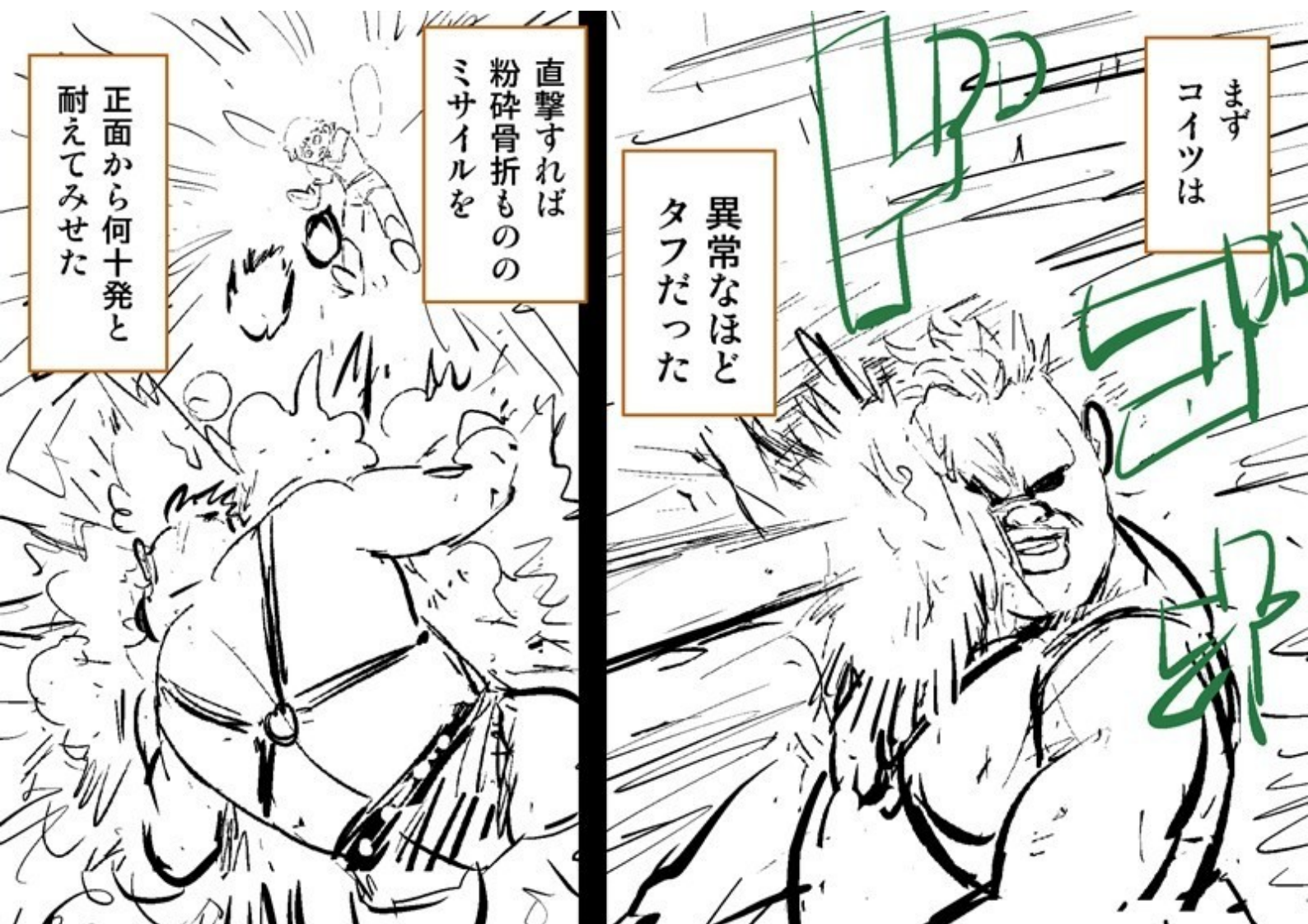


まず
コイツは

異常なほど
タフだった

直撃すれば
粉碎骨折ものの
ミサイルを

正面から何十発と
耐えてみせた



あたしだけを
狙って

そう、他の
フェアリーには
目もくれず



ひッ

十秒ほどで
復活し



で、やっと
倒れたと思ったら



すぐにまたあたしを
追いかけるのだ

おかげで――

えー!? ピーカ今
オークと付き
合ってるの!?

ヤッ

いい趣味
してんなオイ

やるじゃんアンタ
見直したわ!

オークの射精
めっちゃすごい
って本当?

だから違う
って言ってん
だろーが!!



相手が

コイツって
のはさあ…

最初見たときは
あたま抱えたよ

ウツソ
でしょ…



1 回くらいなら
あたしも間違
いとして片付
ける

でもこう
立て続けに

毎晩夢に出てくる
とあっては

さすがに穏やかでは
いられないワケで



しかも厄介な
ことに

この夢は日を
重ねるほど

どんどん
リアリティを
増してくるのだ

く…口に
出された…



ああんっ
出てるっ…

ビュッ…

いっぱい
出てるう…

ビュッ…

んんっ…アルム
好きっ…大好きっ

さつきフェアリーは
相手をコロコロ替える
って言ったけど

うん…♡

あたしたちの関係は
ちよっと違う



この3年間
ずっと途切れずに
交際を続けている

フェアリーとしては
かなり異例の長さ
だけど

それだけ
お互いのことが
気に入ってるんだ

このままだと
いつか既成事実
にされかねない

そう危惧したあたしは
この手で直にオークを
葬ることにした

リミットを外した
必殺モードの
ミサイルを解禁する

一撃で相手を
挽き肉に変える
ガチ殺傷用のやつだ



殺すつもりで撃った
にもかかわらず

コイツはなんと
生きていた

ま当然ながら
あたしの圧勝
だったんだけど

ただそれ以来姿を
見なくなったし

てつきり
諦めたもんだと
思ってた

オラア!!

もうね
あつたまきた

これ以上
安眠の妨害を
許してなるか



近いうちに
アイツを
見つけ出して

ビッ

きっちり
カタをつける！





ただし仲間は
頼れない

ちなみに
アルムにも内緒

今回のケースだと
あいっらは
面白がつてオーク側に
付きかねないからだ

彼の前でオークを
ミンチにするのは
さすがにね

むっ

あんにやろ何と

旗振ってこつちを
待ってやがった





後で知ったこと
だけ——

こいつはあたしに
負けた日から
ドーピングを
繰り返して

ポータル

一時的に
上級魔法使い
並みの魔力を
身に着けたらしい







ガク

こ…
このやろ…

あとで
覚えてろよ…

くうく…なんて
デリカシーの
無いやつだよ

あからさま
すぎる…！

なんだその
新たな発見をした
みたいな顔は!?



もおー！
何なんだよ
コイツ最低！

信じらん
ない！

中身まで
覗きやがった！

…って
えっ？ちよっ

うそっ！！
早いって！！



オークが魔術使うなんて
発想がそもそも無かった
せいもあるけれど

とにかくあたしは
見事にはめられた
ってわけ

ファイファイ

ニル

…まずは
現状の確認だ



体に力が入らないし
声も意味をなす
言葉が出ない

生意気にも呪文用の
対策してやがる

さーてコイツの術が
解けるまでどれくらい
かかるかな…

入念に
準備してきた
ってわけだ

オイ
さわんなそこ

殺すぞ

その間なにか
適当な話でもして
時間を稼がないと

いや待てよ
言葉がダメなら
話もできないじゃん

…これ
まずくね？



あー
くそっ…!!

さ…

最悪だ……

